

磐城時報

福島縣石城郡平町掛町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町掛町十四
發行所 磐城時報社
第一冊金貳圓 一月金拾圓 三月金貳拾圓
廣告費一行十四字 每月金五拾圓
A日刊（日曜、祭日）休刊

漁港修築起工式

けふ喜びの四倉町 來賓四百余名を迎へ 赤木知事基石を沈下

四倉漁港修築工事の起工式は、二大提灯行列があつて全町は終日午前十時から舉行された。日股賑を極めた。多年の懸案が愈々實現されるのて地方民はこの日の喜びを前に、薄早朝から四倉町に集り開會前會場附近は人山を以て築かれた盛況を示した。定刻赤木知事、土肥土木課長、引田地方課長、以下來賓數百名と共に臨場開會の挨拶後赤木知事が基石の綱を切つて沈下し次で内務、大臺、農林大臣その他の玉串奉奠、地方有志、代議士、縣會議員その他の祝辭祝電披露等あり正午は海氣館に於ける特別宴會を開き散會したが、この日四倉小學校兒童一千余名は午前十一時から全町に旗行列を行ひ、又青年團主催による舞女の花車、その他主催はしあり、夜は又町民の盛

多年の懸案實現 新妻町長喜びを語る

四倉町長新妻盛氏は築港修築起工に際し喜びを語る。四倉町の田畑僅に百三十町歩に過ぎず、此の生産米麥は僅に本町を二ヶ月間支へる丈の

この恵まれた土地にあつて近年漸次漁業界が不振に陥つて來たといふのは沿海漁業が多くなり遠洋漁業が振はなくなつて來た結果で、是は取りも直さず漁港不完全なため船舶に、陸揚げに不便なため碇完全な漁港を作らねばやがて四倉町は滅亡の運命に置かれてある事を發見したのである。赤木知事叶つて起工する事となつたが完成に依り所謂海洋開拓の根據地が出来ることは町の發展は勿論漁業界のため大いに利用價值を發揮する事が出来ること、非常に喜んで巡行行列を行つた。

湯本町の土木事業 一萬三千名を使役 今月下旬に着工

石城郡湯本町に於ける一萬五千知事は十九日平町上水道竣工式を以て、同町水野谷地内に臨み二十日には午前四時四十分から鹿島村に通ずる延長四百六港修築起工式に臨み午後は豊間十米、巾九尺を十五尺に廣める江名、小名各漁港を視察廿一日道路改修及び驛前から小名濱に雙葉郡内の視察を終へて廿二日、至る延長四百米の縣道改修及び松川漁港修築起工式に臨席の上町内裏町通り全線延長三百六十同夜歸福の筈である。

石城地方に 桑の白癩病

九月に入つてからぐれ出した天候は十五日頃より愈々土砂降り雨が小止みなく降りしきるの目下四令期位の晩秋蠶を控へて浪江地方の農民は恨めし氣に倉庫を仰いで嘆いてゐる。この悪

▲赤木知事日程

赤木

▲兩村長陳情

石城郡平窪村、草野村長ならびに有志松崎松治の兩氏は出稼農土木事業につき陳情したが、同村は縣に縣の諮問に對し町村道の改修を希望してゐたが割當られたものは町村道は僅に千五百圓で林道開鑿に二千五百餘圓その他耕地整理事業が配當された、しかし同村は果樹栽培を奨励して産額多く従つてこれを發出するに交通道路を完備せねばならぬので林道の開修費も、町村道の方面を考慮を承認せらるゝやう陳情した。

▲好間校旗行列

石城郡好間村第一小學校では十八日滿洲事變一周年紀念愛國福島號命名式を祝ふため全校生徒が手に手に國旗をかざして村内を一巡行行列を行つた。

弓田技師經過を語る

◆……コレラ騒ぎ落着きまで

石城郡大野村藥王寺佐藤久治（六三）の病死に對する疑似コレラの疑ひについては十六日夜來縣の弓田、落合、江戸、中曾根の各防疫醫が縣立平細菌検査所患者の糞便から細菌をとり六回に亘つてこれを培養し不眠不食は最初四倉署に報告した四倉林で検査したが、コレラ菌の吉田醫師は臨床の症候が醫書によるとコレラ患者らしかつたので萬一を慮り主治醫の木村君と相談して縣へ報告したまで、人騒がせを恐縮には思つてゐるが、まあ眞症でなく何よりのだ。コレラでないにしても大腸カタル等のやうな輕微な症状ではなく餘程悪性の原因があると思つた。

常磐炭礦代表が

さきのふ鐵道省を訪ふ

石炭運賃値下げ運動

古賀社長、館岡専務、古河礦業管谷社長、三上同専務、小田炭礦小田社長、その他數名が發生したので之を以て防に渡邊専務、同島山取締役、大は高槻東京鐵道監督局長、阿部つとむる事になり此際徹底的に倉庫業岩瀧専務、大日本炭礦書記官を同道山崎猛、中井川浩養豚豚全部に注射する方針である

豚コレラの 豫防注射

石城郡下に於ける豚コレラは益々猖獗を極めてゐるので、縣臨時防疫獸醫を任用し縣吉田防疫獸醫指揮の下に之が豫防にこめた結果下火になつたが、尚ほ樂觀を許すことが出来ぬので左記日割によつて豫防注射を行ふ。

區	第一回第二回注射豫
勿來町	九月 十月 一四〇
小名濱	廿一日 二日 一四〇
江名町	廿二日 三日 一五〇
錦村	廿三日 四日 一五〇
植田町	廿四日 五日 一〇〇
湯本町	廿五日 六日 一〇〇
白河町	廿六日 七日 一〇〇
白河町	廿七日 八日 一〇〇

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りません
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で
湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、従来の浴劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化
する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵
病魔征服 傳染病豫防の武器

眞の温泉療法は一若葉の三四月から一夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分 (二日使用 十二日分) 五十錢
十四回分 (同 廿八日分) 一圓
三十四回分 (同 二ヶ月八日分) 二圓

平町四丁目

命の洗濯代理店 小野屋藥舖

電話一四四番

家傳秘法腫物湯のんで効く
はれ物の妙薬

主一、面疔、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ
効一、耳鼻のおでき、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前後
一、等よし
◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

特約店
平町四丁目 小野屋藥店 四ツ倉町 荒川藥店
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店
湯本町 岩瀬屋藥店
腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

平町田町 (電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久忠
新瀉醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

貸切御用命ハ
ゼヒ 三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

廣告

新任外科部長

内木學士來任

七月十一日ヨリ毎日診療ニ從事ス

内臓外科 泌尿器科 醫學士 内木宗八
昭和七年七月

平町新川町十九番地

産婦人科 木村病院
電話一六四番

病室完備

平町南町

外科専門 X光線科

上田外科醫院
電話一二九番

入院應需

外科 一般外科 内臓外科
性病科 X光線科

入院隨意 (自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

横濱植木株式會社特撰
草花・蔬菜類

優良種子

各種賣出し致しました。

農園藝藥品の御相談は

西村屋藥局
電話三番

美神淋藥 試用 一週分 四圓五十錢
二週分 八圓

超仁粒銀

一町一店主義で 二〇三〇五五〇五〇
販賣店 藥集 大坂市南久美寺町四丁目
目下大特典アリ此期ヲ過セズ至急 本館宮内善進堂
照會アレテ手紙電話何レニテモスグ 東京市神田區錦町三丁目三三番
返事ス 速セバ大損ツカメ此機會



角目丁五町平 局藥邊野山 店理代方地

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

祝 四倉漁港
修築起工

面川商店
電話十一番

柳沼三郎

營家長夫

額賀醫院
電話四番

波多野商店
電話四番

大漁亭
電話五十一番

木田雅風

水野屋本店
電話七番

植田貨物自動車部
電話三十三番

四海盛座

醉屋自動車部
電話六八番

鈴木克哉

平屋吳服店
電話五九番